



小絹東交差点を野田市方面へ左折するための専用レーンが整備され、大型車を中心とした左折車両の減速による交差点内での渋滞が解消される予定です。併せて、谷和原中学校方面からくる直進車両が混雑する、県道3号線つくば野田線の渋滞緩和が、同様に図れる見込みです。また、小絹小北交差点から国

ごみ処理対策について

道294号の小絹東交差点区間の、右折レーンを延長することにより、直進車の交通阻害を解消させ、渋滞緩和を図る事業が進められています。そして、信号機の設備に関しては、茨城県公安委員会の管理です。今後とも警察署や関係機関などの協議を重ね、渋滞緩和策を検討していきます。



花風 ふうか 3年
相澤 あい 議員
(小絹中)

いかと思います。また、実際に現時点でどのような成果が出たのか教えていただきたいです。

【市長答弁】

この分別の細分化は、容器リサイクル法に基づき、

今年度より、つくばみらい市でも、ごみのリサイクル化を進めるといふ事で、「プラスチックの分別」がスタートしました。各家庭においてプラスチックは資源という意識は、少しずつですが定着してきている頃だと思います。ですが、学校や公園などの公共の場はどうでしょうか。本当に環境問題やごみ処理対策に取り組むのなら、学校などの人が多く集まる場所、ごみが多く出る場所こそ、ごみの分別化をもっと進めるべきではな

限りある資源を大切にし、リサイクルを推進することを目的に導入しました。これまで「燃えないごみ」とされていた中から、ペットボトルとプラスチック容器を、資源物として分別していただくよう、お願いしています。すでに4カ月を経過し、市民の皆さんが分別にすっかり取り組んでくださり、不燃ごみは大幅に減少していると思います。さて、その一方で、学校などの人が多く集まるところで、より一層分別を推進すべきでは、とのご意見ですが、市としても

その提案に賛成ですし、ぜひともお願いしたいです。

市役所などの公共施設でも、ごみ箱を5種類くらい並べ、一人ひとりが一つ一つ分別することを徹底しています。職員室などではすでに分別にご協力をいただいていることと思います。学校の教室には、そのスペースは確保できないかもしれませんが、一つのごみ箱を、工夫をして2つに分けるなど、何か取り組んでみてください。それはごみの分別について考えるきっかけにもなると思います。ごみを分別して排出することは、ごみ出しの最低限のマナーと考えます。学校においても、先生方と相談し、分別の推進に向けてご

協力をお願いします。

また、公園などの公共の場での分別ということですが、基本的に公園にごみ箱は設置していませんので、ごみは必ず持ち帰り、家で分別して、集積所に出していただいていると思います。中には辺りに捨てて行ってしまう人もいますが、それは分別というよりマナーの問題ですので、そういうことのないように、注意を促していきたいと思っています。

最後に、分別を細分化し、資源物としていただいた成果については、まだ今のところ、数字やデータでお伝えすることはできませんが、把握でき次第、広報紙などでお知らせします。

汚染土置場について



華 かもも 3年
原 原はら 議員
(谷和原中)

東日本大震災の後、放射能の影響で中学校のグラウンドの表土除去を行い、グラウンドの土を数センチ削り除染しました。しかし、表土除去したその汚染

土はグラウンドの一角に山積みされたままです。谷和原中学校では定期的に「愛校作業」という行事があり、主に校内周辺とグラウンドの周りなどの草むしりを行います。私たち3年生は、前回、その汚染土が山積みされている付近の草むしりをしました。集めた雑草は、汚染土の置かれているそばの、大きな穴のゴミ捨て場に捨てました。汚染土の上にビニールシ